

令和元年度第1回「相模原市PPP/PFI地域プラットフォーム」

「公園未利用地の利活用」の官民対話における主なご意見・ご質問等

1.立地に関すること

Q:津久井湖に隣接していますが、湖の眺望は良好ですか。

A:樹木があるため、直接眺望はできない。当該樹木は、湖岸の崩壊を防ぐためのものであることから、伐採はできない。湖岸の所有者が神奈川県であることから、剪定については県と調整が必要。

Q:周辺地域からのアクセスについて、利便性は高いでしょうか。良くない場合、今後整備などは想定されるでしょうか。

A:公共交通機関では利便性は高くないが、圏央道の相模原インターチェンジからは近いから自動車なら良好。

Q:周辺に様々な施設がありますが、各施設又は全体での利用客数などのわかるデータはありますか。

A:データは特になし。必要に応じて、データの収集及び公表に努める。

Q:湖に対して突き出た形をしているため、その立地を活用できると良いと思う(周辺の樹木を伐採し、湖への眺望の確保や湖への小道の整備など)。

A:湖畔の所有者が神奈川県であることから、調整の必要がある。

Q:キャンプ、アスレチック場、グランピングが良い。

A:過去の検討の中ではそのような案もあった。農園という案がでたこともある。

意見:イメージとしてはピクニック場やキャンプ場といった休養施設。カフェ単体は成立しないと思う。駐車場を十分確保してほしい。

2.制限に関すること

Q:事業期間は10年以上とすることはできますか。

A:事業内容や整備手法によっては10年以上の可能性もある。

意見:道路、駐車場、インフラ等の整備が必要。

3.事業スキームに関すること

意見:市が整備を行い、民間が賃料を負担して運営し、賃料収入で市が維持管理を行うのが良い。

意見:現状都市公園でないのであれば、都市公園に指定し、Park-PFIを使わなくてもよい。そこまでの需要を見込めない。

意見:ハイキングコースや登山客が帰りに立ち寄ることができるよう足湯の整備などがよい。

意見:近隣の Pasta 屋の食事がこの場所で食べられるオープンカフェのような場所にするのがよい。

5.その他

意見:目玉施設が必要である(美味しいレストラン、日本最大級のアスレチック遊具など)。

意見:地域の人材や団体の協力が必須である。

意見:対象施設単体で考えるのではなく、周辺の観光資源を含めて考える必要がある。

意見:相模湖プレジャーフォレストとの差別化が必要である。

意見:インバウンド効果を狙うとよい。

Q:ネモフィラやひまわりは育たないでしょうか。花の中では集客力があると思う。

A:土壌を改良した上で、育てることは可能だと思う。

Q:制度上、何公園に属する?(公園種別は何か)

A:特に決まっていない。

Q:PFIを活用した事業を具体的に提案したい場合は、次のステップはどうすればよいか。

A:公園課に個別に相談していただいて構わない。また、今後クローズド型のサウンディング市場調査等の実施も検討している。

Q:市内の他の公園についても Park-PFI 等の提案をしたい場合に話を聞いてもらえるか。

A:ぜひ話を聞かせてもらいたい。